

受験者並びに関係者の皆様へ

2026年度群馬大学一般選抜（前期日程）等における出題ミスについて

このたび、2026年2月25日（水）に実施しました2026年度群馬大学一般選抜（前期日程）及び帰国生選抜において、次のとおり出題ミスがありましたので、お知らせいたします。

受験者並びに関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、今後の入試に向けて、試験問題作成並びにチェックに係る体制を再度検証し、このような出題ミスを繰り返さないよう改善を行ってまいります。

1 対象学部等

医学部医学科、医学部保健学科、理工学部

2 入試方法区分、試験科目

2026年度一般選抜（前期日程）及び帰国生選抜

医学部医学科：理科

医学部保健学科：物理

理工学部：物理

※帰国生選抜は、医学部医学科において実施。

※「理科」及び「物理」は共通問題となっています。

3 該当箇所

(1) 医学部医学科

理科 大問3【I】(5)

(2) 医学部保健学科

物理 大問3(5)

(3) 理工学部

物理 大問3【I】(5)

※いずれの該当箇所も1箇所と同じ問題です。

4 経緯

合格発表後、出題主任が各問題の解答データを分析している際に生じた当該問題において別の解釈が成り立つ可能性について、2026年3月15日(日)に、出題委員及び試解答委員において状況分析を行った結果、当該問題の前提条件の示し方が不十分であることが判明いたしました。

医学部医学科及び理工学部の大問3【I】(5)及び医学部保健学科の大問3(5)は、お茶を水とみなして熱量の保存に基づいて計算させる意図で出題いたしました。具体的には、お茶を水と同じ性質の液体と仮定し、氷が溶ける際の熱量や比熱（温度変化に必要な熱量）を用いて解答することを想定しておりましたが、問題文において「お茶を水とみなす」といった前提条件の記述が不十分であり、高校化学で学習する「凝固点降下」の現象を考慮した別の解釈が成り立つ余地を残してしまいました。出題にあたって前提条件の示し方が不十分であり、複数の正答が成立し得る状態であったため、当初の正解（い）以外の選択肢（あ）についても正解とすることといたしました。

5 原因分析

本件ミスを事前に把握できなかった原因は、出題者及び試解答委員において、当該問題を高校物理の範囲内でお茶を水とみなして氷が溶け残るかを、熱量の保存に基づいて考える問題としてのみ認識しておりましたが、作題段階において、凝固点降下の観点を論点として十分に意識せず、試解答及び事前確認の過程においても、お茶を水とみなして氷が溶け残るかを、熱量の保存に基づいて考えるのみの問題として関係者間でも同様な確認作業を進めたためです。

6 対応

当該試験科目の受験者全員を再採点・再判定した結果、4名（医学部医学科1名、理工学部3名）が合格者となることが判明しました。なお、当該受験者4名以外の受験者の合否への影響はありませんでした。

合格者となった4名については、合否判定後速やかに個別連絡を行い、謝罪と経緯説明を行いました。なお、本件に関わる諸対応につきましては、合格者本人及びご家族と協議のうえ、誠意をもってあたらせていただいております。

7 再発防止

従来の計算の正誤及び出題範囲の適否の確認に加え、異なる前提に基づいて問題文を解釈し得る可能性の有無についても点検する観点を含んだチェック体制とします。今後は、試験解答の段階において、想定解法のみならず別解釈の可能性についても確認を行うとともに、作題者とは異なる立場の確認者が、設問における前提条件の明確性について点検を行います。さらに、採点作業に入る前の段階で、問題文及び解答例について、当該科目の出題・採点・試験解答に関わっていない学内教員による、別視点の確認を行うことができるよう、確認手順を見直します。あわせて、チェック項目に「前提条件の明確性」及び「他教科の知識による別解釈の可能性」を追加し、確認体制の見直しを図ります。

また、入試は大学全体で取り組むべき業務であるため、大学として検討委員会を開催し、実行性のある体制を作り、再発防止に努めてまいります。

本件に関する群馬大学長コメント

このたび、本学の2026年度群馬大学一般選抜（前期日程）等の出題科目である「理科」及び「物理」において出題ミスがあったことが判明しました。

このことにより、新たに4名の方を合格としました。入学者選抜試験においては、公平性と正確性が強く求められるなか、受験者の進路に大きな影響を及ぼす事態を招き、受験者の皆様をはじめ、ご家族の方々や関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深く反省するとともに、群馬大学を代表して心よりお詫び申し上げます。

本学といたしましては、影響を受けた受験者の皆様のお気持ちに寄り添い、誠心誠意対応に努めてまいります。

今回の事案を厳粛に受け止め、問題作成及び点検体制の一層の強化を図り、再発防止に向けて万全を期して取り組んでまいります。

2026年3月27日

群馬大学長 石崎 泰樹

【本件お問い合わせ先】

群馬大学総務部総務課広報係

TEL:027-220-7010